

小麦収穫後のほ場管理について

小麦収穫後の緑肥栽培は、ほ場の物理性・生物性・化学性等の改善に効果があり、後作物の生育に大きく影響します。目的に合った緑肥を栽培しましょう。

○後作緑肥の選定

緑肥の効果を十分に発揮させるためには、後作物との組み合わせが重要です（表1）。

表1 後作緑肥と作物の組み合わせ適性

後作緑肥作物	適する後作物	緑肥の主な効果
えん麦野生種 (イネ科)	豆類・てんさい等根菜類	キタゲサルセンチュウ・キタコブセンチュウ抑制・ 小豆落葉病抑制・そうか病抑制
ヘアリーベッチ (マメ科)	てんさい・ばれいしょ・ とうもろこし・小麦・玉ねぎ	易分解性窒素供給・ハコベ等雑草抑制
ひまわり (キク科)	とうもろこし・小麦・玉ねぎ	有機物供給・土壌物理性改善
クリムソンクローバー (マメ科)	小麦・てんさい・野菜類	ダズリストセンチュウ抑制

○後作緑肥の栽培例

乾物量確保のため適切な施肥と早めのは種を行いましょう（表2）。

表2 後作緑肥の栽培（例）

後作緑肥作物	は種量 (kg/10a)	緑肥への施肥量(kg/10a)			乾物重 (kg/10a)	C/N比
		窒素	リン酸	カリ		
えん麦野生種	10~20	5	5	0~5	400 ~600	15 ~25
ヘアリーベッチ	5	2~5	5	0~5	150 ~300	10 ~15
ひまわり	1.5~2	4~6	8~10	0~10	100 ~400	15 ~20
クリムソンクローバー	2~3	3~4	8~12	0~6	300 ~400	15 ~20



○緑肥栽培後の減肥

緑肥栽培後は、緑肥作物に応じた減肥が可能となります（表3, 4, 5）。

表3 後作緑肥を栽培した場合の後作物の窒素減肥可能量 (kg/10a)

麦稈処理 (すき込み量)	緑肥 C/N 比	緑肥の乾物重 (kg/10a)		
		200	400	600
抛出 (200kg/10a)	10	3.5	8.0	
	15	1.5	3.5	6.0
	20	—	1.5	2.5

表4 土壌診断値に基づくカリ減肥可能量

交換性カリ (mg/100g)	減肥対応
15未満	減肥しない
15~30	緑肥のカリ施肥量の80%分減肥
30以上	緑肥のカリ含有量80%分減肥

表5 カリ含有量に基づく減肥

後作緑肥作物	カリ減肥量 (kg/10a)
えん麦	10~20
ヘアリーベッチ	6~10
ひまわり	6~14